

国民健康保険料

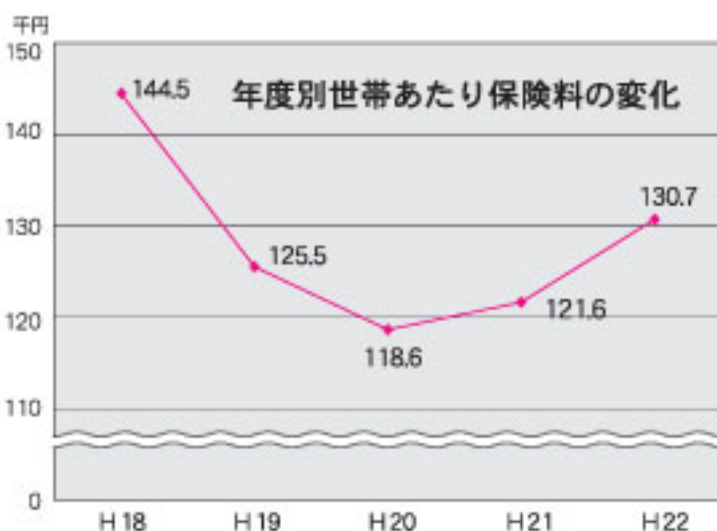
「国民健康保険条例改正案」が賛成多数で可決されました。これは国民健康保険料を改定するも額医療が増え、医療費全体を押し上げていること、財政調整基金の取り崩しを最大限考慮したが、



国保料負担が大きくなった原因は？

国保料引き上げの最大の原因は国の予算削減です。

1984年までは市町村国保の総収入に占める国庫支出金の割合は約50%でしたが、現在は約27%とほぼ半減し、一人当たりの国保料が増大しました。



モデルケースで保険料を試算すると・・・

- 所得400万円、資産1,000万円、4人家族（40～64歳：2人、40～64歳以外2人）の場合
改定前348,000円 → 改定後406,300円
- 所得200万円、資産0、2人家族（40～64歳：2人）の場合
改定前160,500円 → 改定後186,500円
- 所得100万円、資産300万円、2人家族（40～64歳以外：2人）の場合
改定前78,200円 → 改定後91,100円
- 所得100万円、資産0、1人家族（40～64歳以外）の場合
改定前61,200円 → 改定後72,300円

富士見町の場合・・・

医療費の伸びや被保険者の所得の減少が保険料引き上げの大きな要因です。

高齢化を迎え、今後も医療費が下がる要素は見当たらず、将来的に大きな課題です。

